

table

仕事場訪問 [株式会社 昭和設計・阿曾英実建築設計事務所・アルファヴィル]

対談「青砥建築設計事務所青砥 聖逸 × HAMADA DESIGN 濱田 猛」

建築家と建築家「大田 隆信 × 二井 清治」

vol

2



平日と週末の建築家

「長尾健建築研究所 長尾 健・ROUTE 西井 洋介」

あの人のおススメ

建築家の行きつけ店、教えます

特集

建築家の働きかた

建築家の素顔、横顔を知るための5つのQ&A

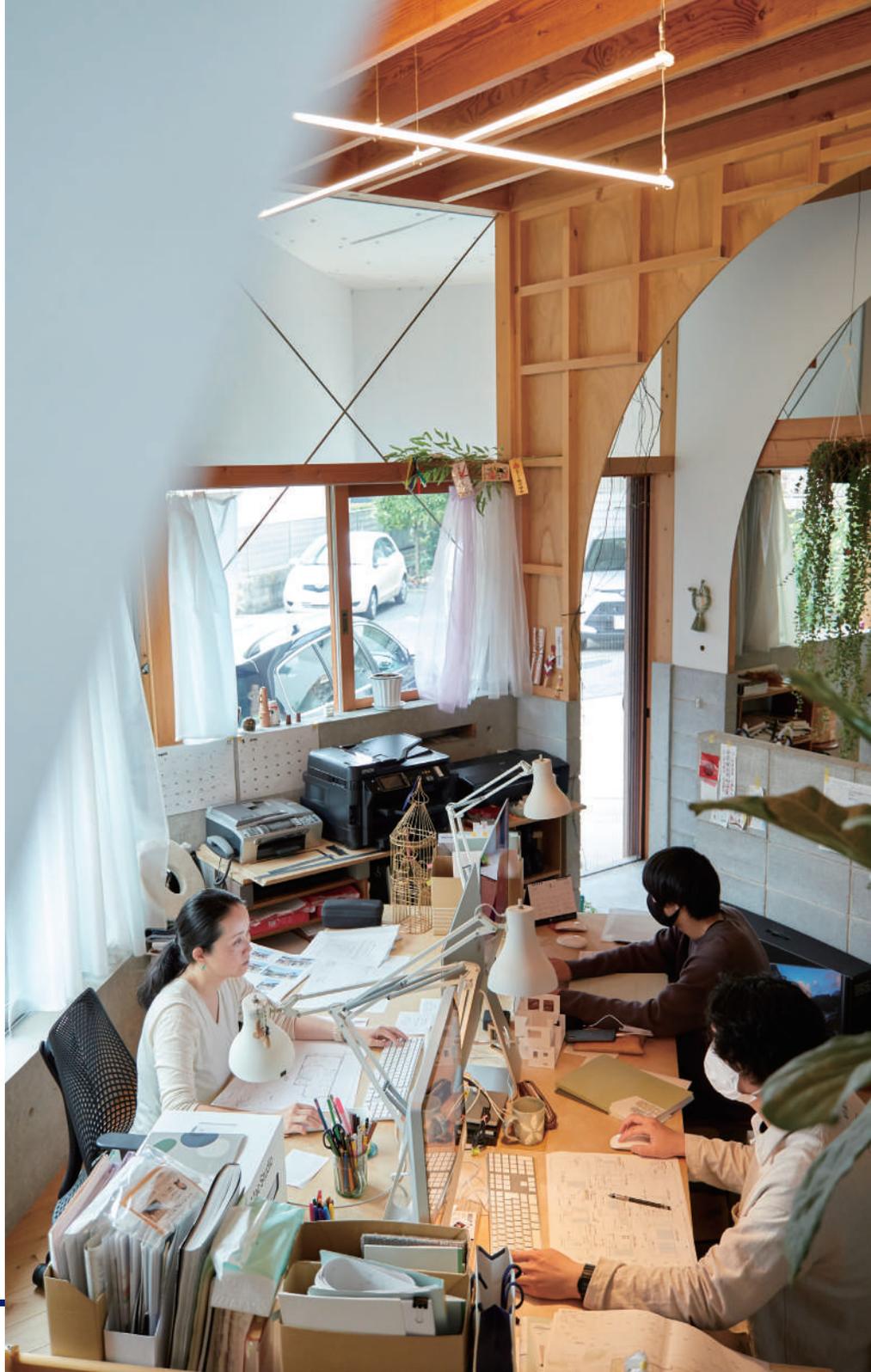
特集 建築家の働きかた

- 02 仕事場訪問
株式会社 昭和設計(大阪・中津)
阿曾美実建築設計事務所(神戸・王子公園)
アルファヴィル(京都・西院)
- 03/05/07 建築家の素顔、横顔を知るための5つのQ&A
- 08 平日と週末の建築家
長尾健建築研究所 長尾 健さん
ROOTE 西井 洋介さん
- 10 対談
建築家の働きかたなんて千差万別なんだけど、
たとえば僕らの場合は…
青砥建築設計事務所 青砥 聖逸
× HAMADA DESIGN 濱田 猛
- 13 建築家と建築家
太田 隆信 × 二井 清治
at 大阪府立青少年海洋センター
- 14 あの人のオススメ
日本設計 松尾 和生 そば処 一山(大阪・淀屋橋)
堀田設計 谷岡 拓 Msギャラリー12番丁(和歌山市)

建築家の日常をテーブルの上に並べて置き、深掘りしたいなと思うことをここにまとめました。建築家、建築への見方がより身近に感じられるように。そして、このtableを囲んで、街が、社会が、さらに活気つくことを願っています。

奥和田 健
JIA近畿支部 広報委員長

table



建築家の 素顔、横顔を知るための 5つの Q&A

- 1 仕事に必須の「7つ道具」は？
- 2 「勝負服」「普段着」の定番といえど？
- 3 職場ではどんなBGM？
- 4 仕事/プライベートにおける至福の時間はどんな時？
- 5 好きな場所！

- 1 iPad PRO (図面チェック用)
iPhone PRO (カメラ)
ペンタイプのレーザー測量機
TAJIMAのスケール
トラディオ プラマン(筆記具)
LINEWORKS (アプリ)
Zoom
- 2 勝負服：Arts & Science。地鎮祭、竣工
検査、施主との会食で
普段着：FOB FACTORYのデニムのパン
ツとユニクロ。現場と通勤で
- 3 Miles Davis、Jusqu'a Grad-Pere、Daft
Punk、Charisuma.com
- 4 仕事：ファーストプレゼンでうまくいったと
感じたとき
プライベート：晩酌、ミスタッチなピアノが
弾けたとき(ほぼないですけど)
- 5 通勤路(清水道の松原通)。朝、自転車
で降りていくときが爽快です。

Space Office | 級建築士事務所 @ryokokakada
岡田良子さん

奥和田健さん

奥和田健建築設計事務所 @okuwada

- 1 iPad Pro...これにGoodNotesとSlackとZoomを入れて
Leica DISTO (カメラ)...いつも鞆に入ってます
長靴...ワークマンの長靴が重宝します
- 2 普段着：同じ無地シャツを3枚同時に買い、
それらが3セットあり、シチュエーション別に
同じ服装でいられるよう心がけています。
勝負服：年に数回だけ、ここぞという時に
着る、ヨウジヤマモトが数着。最近あまり着
れていません。
- 3 福岡出身のMC/ビートメーカー、NF
Zesshoが好き
- 4 話しながら街で食事を楽しんでいる時
- 5 深夜のタクシー車内(雨が降っていれば完
璧です)。そのタクシーで下る松屋町筋も好
きです。



梅田中心部をのぞむオフィス

7階会議室からの眺め。梅田中心部から少し北東に位置。目の前に新御堂筋が走り、昭和設計が手がけた中津リバーサイドコーポ(1970年築)が右奥に見える。



通路が仕切り

5階、6階は部屋を仕切らずに、大きな1部屋として使用。部署を分ける通路を広くとって、打ち合わせやオフィス機器・用品のスペースとしても通路を活用している。



資料室完備

7階の資料室。設計に関する資料のデジタル化を進めて、空いたスペースにはラウンジブースを設けた。創業者の岡本行善の蔵書(美術書多し)を収めた岡本文庫の書棚も見られる。

01 株式会社 昭和設計

撮影・坂下丈太郎

大阪
中津

1957年設立。2010年から本社を現在地へ。96年築、7階建てビルを全面リノベーション。2階にはセミナーホールも備える。大阪本社には150人ほどが勤務。

<https://www.showa-sekkei.co.jp>



特集
仕事場
Office
訪問
Visit

建築家が働く
オフィスやアトリエ、
その普段の様子を
ちよつと拝見！



開放感のある大部屋

建築設計部が働く6階は、10人ほどで構成されたグループが4つあり、ゆるく島が分かれている。机は1600×700mm、通路は1500mmで統一。手前の机はDIYで木製に。



ささやかな通路の工夫

エレベーター前の通路壁は50mm刻みのマス目に。文字サイズのサンプルなども掲示して、日常的にスケール感が身につくような工夫が。



相談、ミーティング随時可能

構造、設備やマネジメント系の社員が働く5階の様子。通路に小さなミーティングスペースがいくつも設けられているのは6階も同じ。スツールはアアルト、デスクチェアはスチールケース。

Showa Sekkei

建築家の
素顔、横顔を知るための
5つの Q & A

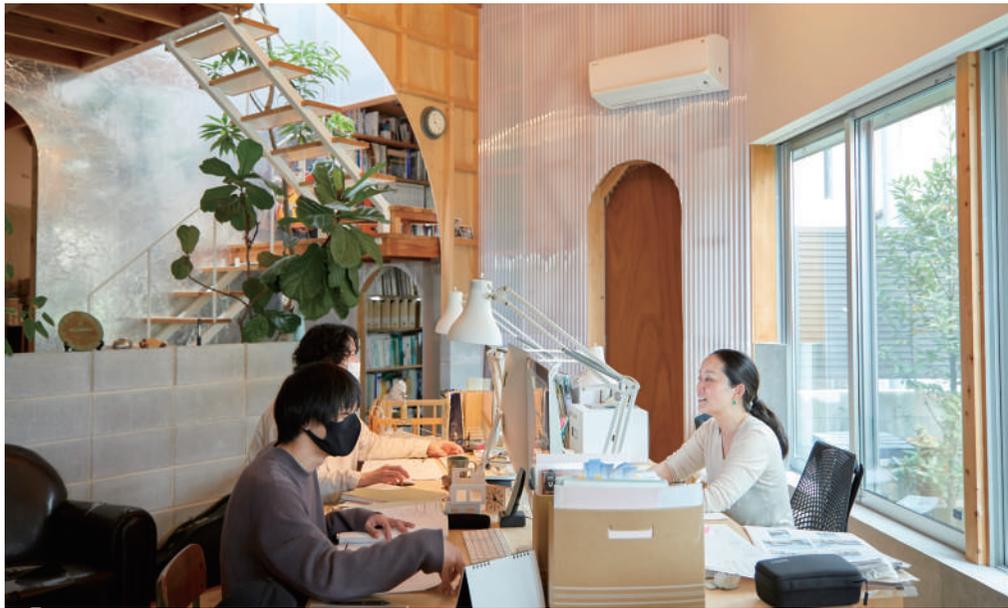
梅原 栞さん

UME architects ume113 @ume113

- 1 Mac
iPhone
SONY RX100V (カメラ)
Pentelサインペン
STAEDTLERシャーペン
フリクション4色
.03チェア
- 2 特に決めていませんが、ブラックをベースにして、好きなものを好きなときに身につけています。大好きなのは長い間、使い続けています。
- 3 仕事中、基本的に音楽は聞きません。以前は聞いていたこともあったのですが、電話や出入りなどもあるので聞かなくなったのかも。
- 4 仕事もプライベートも関係ないですが、好きな建築・空間を体感しているときや友人たちと呑んでいるとき。
- 5 眺めの良い馴染みある空間。

山下 喜明さん
山下喜明建築設計事務所 @yoshi_jamashita

- 1 Mac
CAD (Vectorworks)
iPhone Pro (カメラ)
iPadPro+ペンシル (図面ビューア+メモ)
THETA (360度カメラ)
ドローン (3台使い分け)
コンベックス
- 2 普段着：着物
勝負服：洋服
- 3 春夏：ポサノヴァ
秋冬：ジャズ・クラシック
- 4 仕事：竣工した建物に植栽が添えられたとき
日常：野菜や草花などの世話をしているとき
- 5 木漏れ日の下、満点の星空の下、月明かりの下



椅子のルール

取材時、新人スタッフが2人いた。試用期間を終え次第、古い椅子を見つけて自らのデザインで自由に張り替え、マイ椅子をつくるのが阿曾事務所のスタイル。とりあえずそれまでは学習椅子とのこと。



02
神戸・王子公園
阿曾 実
建築設計
事務所
<https://www.fumiaso-aa.com>

撮影・西島 洋

2006年設立。2017年竣工のこの住宅兼事務所 (HAT house) は大阪建築コンクール、日本建築士会連合会賞を受賞。地域の人らに住まいを開放する「住み開き」の実践も行なっている。



やわらかな空間の工夫が随所に

資料類は奥の小部屋に。アーチ型で空間を仕切り、ポリカの波板やシルバーの遮熱シートなどの素材で空間をやわらげる。ちなみに、波板の向こうにLEDを入れてあり光壁ともなる。

Fumi Aso Architect

仕事場
Office
訪問
特集
Visit



徒歩15秒の通勤

戸口を入ると「路地」に見立てた土間通路が。コンクリートブロックで仕切れ、地植えの植物まで育つ。訪問者にとっては開かれた雰囲気、阿曾さんは上階の住みからここを通過して「通勤」する。



自宅兼事務所の効用

阿曾さんは0歳、5歳の子育て中。スタッフと家族の距離が近くなり、子どもを寝かしつけた後、パジャマのまま再び仕事にとりかかることもあるそう。手前にベビーベッドが見える。



平田 栞さん

A.SITE (ハーサーン) @1199asite

- 1 ZEQUENZの真っ赤なノート
赤と青のフリクションペン
10Mのコンベックス (メジャー)
Mac
iPhone
ヘルメット
インパクトドライバー
- 2 ギャルソン、リーバイス、ポールスミスとか…
大事な時も、失礼がない程度に普段と変わらない格好です。
- 3 JAZZ全般、Hip-Hop、女性ポーク、SKA、RADIOHEAD、TOM WAITS、Underworld…
- 4 仕事を褒めてもらった時、夜中とか明け方に事務所で珈琲淹れる時、オートメィのアイドリングしてる時、娘を眺めている時、仕事もプライベートも関係なくプラン作るのに没頭してる時。
- 5 事務所の裏の川べり、好きですね、んー、特に嫌いな場所ってないような気がします。

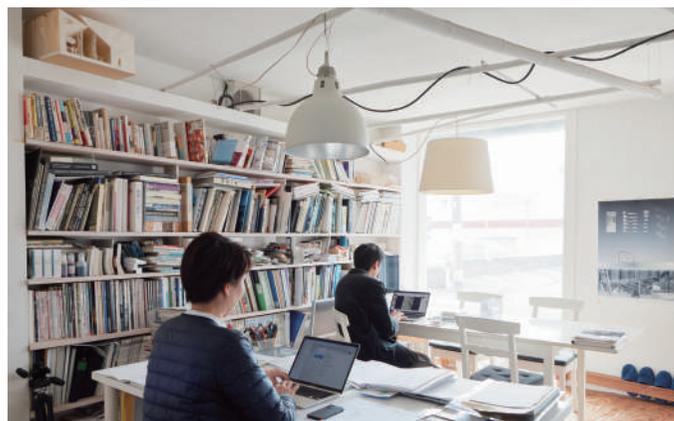


一筋縄ではいかない入り口

コンクリートの踏み板が建物から斜めに突き出した、大胆な事務所入り口。ご近所さんのベンチになっていることもあるそう。



学生時代から改修を始めた空間で
建築家・増田友也の構造家でもあった父の
構造設計事務所を、竹口さんが学部生の
ときに改修した空間。



これがふたりの定位置

大きなガラス面から道行く人と視線が合うことも。天井を這う電源コードは隣の車庫に駐車したテスラEVへと接続。

撮影・小檜山貴裕

03

京都
西院

アルファヴィル

京都大学在籍時から設計活動を始めた竹口健太郎、山本麻子により1998年設立。事務所は、竹口の実家が営む実家・構造設計事務所だった場所に。

<https://a-ville.net>



斜めに向き合う扉

部屋の奥に現在は4人のスタッフが勤務。さらにその向こうに模型作りなどに使う机がある。左壁面ははずらつと本棚。入り口扉と右奥の裏口扉が対角線で向き合うつくり。



奥にはかつて倉庫だった建物

敷地奥には、かつて建材店の倉庫だった鉄骨を改修した建物が。こちらを事務所にしていった時代もあるが、今は古材などのサンプル置き場に。ブリッジは竹口さんの実家へと直接つながっている。

建築家の
素顔、横顔を知るための
5つのQ&A

岸本貴信さん

CONTAINER DESIGN @ containerdesign

- 山と道 Mini (バックパック)
iPad Pro (主にNoteshellを使用)
STAEDTLERのホルダー・青芯
LIFE CLIPPER SECTION A3
Pentel GRAPHLET 0.5mmと0.7mm
FABER-CASTELL
PILOT HI-TEC-C coletto4色 (赤、黒、青、シャープペン)
- 勝負靴：Reebokポンプフューリー (黒)、もしくはBlundstone boots ローカット (黒)
普段靴：Nikeデブレイクタイプ (白)、もしくはAURORA SHOES Middle English (黒)
- FM802かKissFMのラジオ、もしくは無音
- 仕事：アイデアがおりてきた時
プライベート：家族との時間
- 家

西本寛史さん

ma @ nishimochihiroki

- スケジュール帳 (手書きにこだわる)
スケッチアップ
CAD
イラストレーター
フォトショップ
手描きの絵
30度のNTカッター
- 勝負服：デサントのワーキングスーツ
普段着：アディダスのジャージ
- You TubeであまりうるさくないBGMを探して適当に流しています。
- 仕事：クライアントが喜んでくれたとき
プライベート：おいしい料理でお酒を飲んでいるとき
- 外部とやんわりつながる個室空間。テントの中とか車の中とか。

Alpha Ville

金山大さん

株式会社 SWING @ swing_architects

- ありきたりですが、スケッチブック、フリクションペン、iPhone、コンベックス (5.5m)、ノートPC (15.6inch)、三角スケール、拙いトコ力、といったところです。
- 普段着はできるだけ身体に負担が掛からない「柔らかくて軽くてゆったりした」機能的な服を好みます。勝負服もこれといって決めてませんが、クライアントでもある南船場のセレクトショップ「チレントレンタ」さんで選んだ背筋の伸びる良い服を着たりします。
- スタッフの好みで好きにかけてもらってます。私自身は無音でも捗ります。
- 仕事：手掛けた建物や内装がいろんな方々に愛されている様子をそっと見かけた時
プライベート：オートバイで美しい景色を堪能しながら街道を走っている時です。オートバイに乗れなくても「青春」を味わえます。
- 水田の畦道、見晴らしの良い峠、川沿いの街道、黄昏時の寺社の参道、朝霧の河川敷など、自然と街との接点になるような場所です。

平日と週末の建築家

ふたりの建築家に日常を記録していただきました。平日と週末、仕事とプライベート、その境い目も興味深く読めます。

2月某日
土
曜日

- 7:30 起床、朝食、新聞。
- 8:15 屋から事務所とは逆の京都で打ち合わせのため自宅で作図。
- 10:15 自転車から駅まで移動。自転車は無印の白。26歳から同じシリーズで18年使い続けて、現在5台目。
- 10:40 移動は基本電車で。昔から電車では勉強、読書に集中できたが、iPadのある現在は電車の中でアイデアスケッチや図面チェック。少し早めに出て、すいてる電車で座って仕事をするのが日課。iPadのおかげで読書の時間が減ったので、別の時間を確保したい今日この頃。
- 11:40 打ち合わせ前の早めの昼食。大学時代によく行ったラーメン屋に数年ぶりに再訪。炭水化物を取ると眠くなり集中力が落ちるが、欲望に負けて大盛りに…。
- 12:30 新築移転する動物病院の打ち合わせ。実施設計中で造作家具とコンセントなどを中心に、細かい内容まで確認しながら進めて気づけば17時。
- 17:00 動物病院の先生家族と夕食。
- 19:30 先生家族と別れて、少し飲み足らずにスタッフと日本酒バーでもう一杯。まん防もあって20時半でラストオーダー。
- 21:00 帰宅。晩酌、就寝。



2月某日
日
曜日

- 8:00 起床、朝食。
- 9:30 父の命日のため家族で墓参り。
- 10:30 息子と京都市内の温水プールへ。息子600m、私は1km泳いで昼食へ。
- 12:00 2月限定の超こってりを食べたい息子の要望に応じて天下一品へ。1日5食限定ということもあって、超こってりはあえなく売り切れ。息子はこってり、私と妻はあっさりをして帰宅。
- 13:00 北京オリンピックの女子カーリング決勝を録画再生(早送り)。
- 14:00 息子と昨年から作り続けているピタゴラスイッチの製作。
- 17:00 犬のおはぎの散歩へ。
- 17:30 たまの休みは夕食を担当。鶏そば丼、参鶏湯。参鶏湯はそこそこ、鶏そば丼は撃沈…。
- 19:30 仮眠。
- 20:00 息子とテレビゲーム、風呂。
- 21:30 晩酌しながら図面スケッチ。
- 23:30 就寝。



2月某日
月
曜日

- 6:45 起床、朝食。
- 7:30 屋から岡山出張のため午前中は自宅で仕事。豊岡の住宅リノベーションの図面チェック。午後の打ち合わせのための資料チェック。
- 11:30 妻と早めの昼食に近所のうどん屋へ。
- 12:30 車で岡山へ移動。
- 14:45 某内装工事の打ち合わせ。16時20分まで。
- 17:00 別件となるオフィスのコンバージョン工事の打ち合わせ。
- 18:30 車移動で事務所へ。
- 20:30 事務所に着いて、動物病院の構造打ち合わせ。
- 21:30 雑務処理を1時間。
- 23:10 帰宅。晩酌。
- 24:20 就寝。



2月某日
火
曜日

- 6:45 起床、朝食、新聞、準備。
- 8:20 電車で移動。
- 10:00 西区のオフィス内装工事の現場打ち合わせ。11時すぎに終えて事務所へ移動。
- 11:30 3日後の引き渡し物件の事務報告書と、来週提出する豊岡の住宅リノベーションの図面をひたすら作成、21時50分まで。
- 22:00 京橋のスポーツジム入り。ジムでやるのは高校の時に部活でやった水泳のみ。50mを1分15秒×16本、800mを20分泳いで終了。これくらいの距離を毎回泳ぐ。23時終了のジムなので、22時すぎの人が少ない時間に行くようにしている。
- 22:58 コロナの関係で深夜の電車が減っているなのでこの電車を狙って帰宅。
- 23:40 夕食、晩酌、就寝準備。
- 25:30 就寝。



2月某日
水祝
曜日

- 7:00 起床、朝食、準備、読書。
- 9:00 電車で施主宅に移動。
- 10:00 京都の住宅の打ち合わせ、13時半まで。
- 13:40 スタッフと施主宅近くのうどん屋で遅めの昼食。
- 14:50 帰宅、撮りためたアニメとドラマを息子と視聴、17時50分まで。
- 18:00 ZOOMにて、カフェ兼オフィスプロジェクトの減額打ち合わせ。
- 19:30 夕食、晩酌。
- 20:30 息子と風呂、ボードゲーム。日祝も日中は仕事が入ることが多いので、夕食後は息子と遊ぶようにしている。
- 22:00 カフェ兼オフィスプロジェクトの減額リストとスケッチ作成。
- 26:20 就寝。

3月某日
火
曜日

- 6:30 起床、入浴、朝食。
- 9:00 OSシネマズミント神戸へ。知り合いでクライアントの映画監督の作品を観に行く。教養と福利厚生と施主対応のためのスタッフも同行。
- 11:00 六甲の現場に向けて出発。大正10年築のお屋敷、洋間部分の改修。現場着工からほぼ1年半。ほぼ完了だが、一部の左官工事と庭の工事が残っている。今日はカーテンの打合せ。いつもお世話になっている京都のアドバイザー。安定の仕事ぶりですクライアントとの打合せも順調。
- 12:00 現場そばの中華料理店で工務店社長と打合せを兼ねて昼食。いつもの日替わりランチ。窓から現場の外観が見える。
- 13:00 すぐ近くのもう一つの現場へ。こちらは新築住宅。私がかつて通った大学の通学路に面する現場。先生になっている同級生や現役の建築の学生たちも通るはず。何かしら感じるだろうか？ 価格高騰による床材変更打合せ。なかなか良いのがない。
- 15:00 事務所に戻る。私の整理が遅いせいで、税理士事務所より確定申告無事提出の報告あり。その後、たまっている業務を火がついている順にこなす。
- 22:00 帰宅。夕食、新聞、就寝。



3月某日
水
曜日

- 6:30 起床、入浴、朝食。
- 9:00 今日六甲の現場に向けて出発。某大学建築史研の先生を現場ご案内。歴史的建築物の改修はどう残し、新しいものをどのように加えていくかが常に問われる。クライアントが安全に快適に過ごせることはもちろんだが、重要なのは、今回の私たちの仕事の痕跡がこの建築の歴史に良くも悪くも残ること。鋭い指摘はありませんでした。反応が気になったが、とりあえず不機嫌ではなさそう…大丈夫だったか？
- 12:00 事務所近隣の動物病院へ猫のお迎え。実は愛猫が肺炎、腸炎で2週間入院し、なんとか回復。忘れられていないか心配したが、大丈夫のよう。病院のスタッフにかなり媚を売っていたのが「甘えん坊さんです」とのこと。保険に入っていたので70%は返ってくるがびっくりする金額。
- 13:00 昼食。事務所近く、22年通っている喫茶店でカレーライス、サイフォンコーヒー。
- 14:00 事務所。猫の相手、溜まっている仕事の処理…。
- 21:00 猫と帰宅。猫のご飯、私の夕食、新聞、就寝。



3月某日
木
曜日

- 6:30 起床、入浴、猫のご飯及びトイレ掃除、私の朝食。
- 9:00 猫と出勤。基本的に猫は私と一緒に通勤しています。
- 9:30 兵庫県弁護士会へ出発。猫はお留守番。
- 10:00 住宅紛争審査会専門家相談に建築士として弁護士の方と2名で対応。いつも思うことだが、あまりに杜撰な契約が広く横行している。建築界の一員としても大変情けなく、業界の闇の深さを感じる。
- 12:00 事務所に戻って昼食。事務所内で自炊。今日は季節はずれのゴーヤチャンプル。
- 13:00 溜まっている仕事の処理、時々猫の相手。
- 22:00 猫と帰宅。猫のご飯、私の夕食、新聞、就寝。



3月某日
土
曜日

- 6:30 起床。猫のご飯及びトイレ掃除、入浴、私の朝食。
- 9:50 今日は愛知県一宮市で午後から打合せ。新幹線で行く予定だったが、急遽、車で。かつては遠方出張に車で行くことも多く、年間4万km走った年も。今日は、長い修理から帰ってきたばかりの愛車を見ていると、久しぶりに車で遠出したくなり、出発。運転中は他のことができず(当たり前か)考えることに集中できるので、結構好き。計画中の仕事のこと、窓から見える山や集落、街、空、走行のライン取り、前を走る車のデザイン処理…昼食は時間がなくSAの焼鯖寿司。
- 13:00 設計打合せ。リモートの打合せも併用しているが、まん延防止措置が終了したこともあり、対面で行う。あまり近づき過ぎずにすむように、図面をスクリーンに映して画面の中で書き込みや修正を行いながら。結局、リモートと同じことをやっているのだが、目の前に相手がいる方が空気感というか、いろいろ細かに感じ取ることができる。
- 17:00 打合せ終了。自宅に向けて出発。行きは良い天気でなかば行楽気分であったが、帰りはすぐ暗くなることを忘れていた…。修理から帰ってきたばかりで調子を見ながらペースを落とすかと思いつつ、だんだんと運転が楽しくなりいつものペースに。
- 20:00 帰宅。猫のご飯、私の夕食。新聞、SNS、ネット徘徊、就寝。



ROOTIE
西井洋介さん

1977年生まれ。07年に独立。大阪・西天満に事務所を構える。https://www.rootie.jp/

長尾健建築研究所
長尾健さん

1967年生まれ。神戸・北野に事務所を構え、昨年から事務所の一部を「拠点山NEKO」へと開放中。http://ken-nagao.com

建築家の働きかたなんて千差万別なんだけど、たとえば僕らの場合は：

世代の異なる2人の建築家が、それぞれの働きかたをざっくばらんに語り合いました。対談場所としてお借りしたのは、自邸と一体になった青砥さんの気持ちのいい事務所。まずはその話から対談スタート。

撮影・坂下丈太郎

天井の円形スリットから自然光が差し込む。



濱田 猛 (写真左)

HAMADA DESIGN (濱田設計測量事務所)
http://www.hamada-design.com/

青砥 聖逸 (写真右)

青砥建築設計事務所
http://www.aoto-arch.com/

勤続40年の社員もいるんです。とはいえ、父は測量の仕事なので部署は違う。僕は建築設計チームを率いて、そのスタッフ5人はみんな僕が選んで入ってもらった人ですけど、なかなかスタッフと同じ目線でやるというのが難しくって。スタッフは僕がプランを考えるのを待ってる人が多いですね。みんな優秀なんだけど、議論にはならない。青砥 所員との境い目がない環境が理想やと僕も思ってたんですけど、はたして所員はどう思ってたか……まあ、給料が安いのは確かやけど(笑)、楽しく仕事をできたと思ってます。給料が安い、いつもキャッシュで手

渡りにして、明細票に一筆書いて渡してました。濱田 毎月ですか。青砥 そう。ご苦労さんでした、ほんと助かったわとか書いてね。リップサービスじゃなく、そういう気持ちですつとやってきました。濱田 おおつ、そこまでのことはやれてなかった。青砥 けど、建築ってこんな楽しい仕事はないでしょ。濱田 しんどい面もありますけど、ほんとそうですね。

仕事のスタイル、アイデアを出すための準備

濱田 青砥さんはどういうところから設計を考え始めますか。僕は、自分の個性を強く打ち出すというよりは、施主さんとうまく関係を築きながら進めたいと思っていますので、



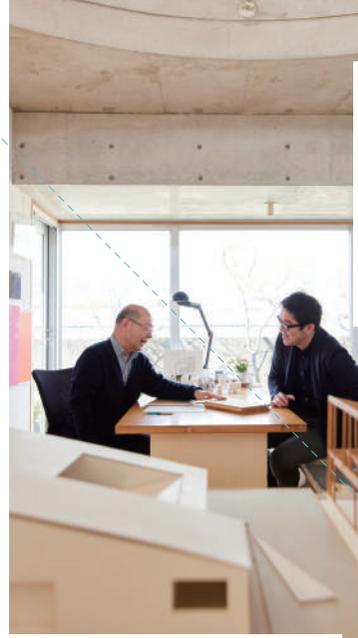
青砥さんの製図テーブル。今も手書き。



日々の決め事、所員との関係

濱田 いい環境ですよ。青砥さんの事務所が3階にあつて、1階はバイオリン奏者の奥さんの音楽スタジオで、下からバイオリンレツソンの音が聴こえてくるという。天井のスリットからやわらかい光が入るのも気持ちよくて。青砥 昼は照明つけてません。職住近接なので、うちの子どもたちが小さい頃は絶対にこつちの仕事場には来ないように言っていました。それを許すとダラダラとなるでしょ。けど、年齢いった今はそのダラダラもいいねんな(笑)。昔は仕事場には必ず着替えてから来てたけど、今はパジャマでも来るよ。濱田 僕の場合は、自宅は会社から車で10分の距離ですけど、朝起きる時間からご飯を食べて、布団たんで家を出発するまでの手順も、会社までのルートも全部決まっています。会社に入ってからの動きも基本的に変えたくないの

で、午前は机に向かう時間、外出は午後からと決めて。服も毎日同じシャツかポロシャツで、決まった服を毎日着てますね。青砥 濱田さんのところは会社組織やからそうせざるを得ないというわけじゃなくて？濱田 自分の意志ですね。最近では、9時の始業時に時報の音楽が鳴るようにも設定しています。夜の8時50分にはそろそろ帰らましようの音楽も鳴るんです。ますます几帳面になってきました。青砥 僕は、所員に仕事の期限だけ伝えて、「早よやりなさい」も「もつとやれ」も言わなかった。所員もひとりの建築家やと思って尊重してきたので、どんどん意見も言わせてね。今はもう、事務所にいるのは私ひとりですけど、これまでに7人がここを卒業して、実はその7人のうち、2組4人が結婚した。恋愛事務所でもあるんです(笑)。濱田 うちはまだ父親が会社の会長でいて、僕が小学生の頃に遊んでもらってたような



ない人もいるし、聞いたのは違うことをして喜ばれることも建築ではあるからね。
濱田 そうですよね。僕は、そこを「半歩先」くらいで考えてます。

青砥 僕は、とにかくメモをします。施主に話を聞いたら雑談まで書き留めて、あとでそれを議事録としてもまとめ直すんだけど、話を聞いてるときからプランはもう考え始めてるような感じ。

濱田 僕の場合は、現場では何も書かずに、話をよく聞いて、現場をよく見るようにして、頭ではちよつとだけ考え始めてます。で、事務所に戻ってキーワードを書き出して、それをさらに膨らませていろんな言葉を出していく。模型や形から考える建築家もいますけど、そもそも僕はそこまで難しい形をつくらうとは思っていないので。

青砥 言葉も大事ですけど、自分のやり方として続けてきたのは敷地の形を何回も書くこと。すると、手が敷地の比率を覚えて、電車の中でも小さなノートに書くくらいになつてくる。それから平面図も立面図も山ほど書いて、太い鉛筆でとにかく書き続けるとアイデアがだんだん形になつてくるんですね。だから、僕のプランはプランAから始めて、決まるのはだいたいプランZ(笑)。

濱田 電車の中でも書いてるんですね。

青砥 最近では、電車の中で見かけた人のスケッチもしています。他にも書き続けているものがあって、マイブックに昨日あったことを毎朝1ページ書いてるんです。これがもう23冊目になりました。



電車などの移動中もメモを欠かさない。

濱田 つまり23年目！
青砥 僕は今年で72歳ですけど、建築らしきことがわかった気がしたのがようやく50すぎで。若い時にできなかったことがはたかさんあるけど、こつこつ続けたらというのができるようになったもの、歳がたせいやと思うわ(笑)。

濱田 僕はJ-1A/日本建築家協会に入ってから、青砥さんもそうですし、すごい先輩建築家にお会いする機会が増えました。すると、みなさんほんとに対等に話してくれるんですね。それが本当にうれしくて。そうやって教わったり聞いたたりしたことを、自分が設計するときには毎回ひとつずつチャレンジするようにしています。一歩ずつ階段を登っていきたくないって。

青砥 濱田さんは、会社組織と建築家と両方の立場を使い分けながら、きちつと段階を経て仕事をされているのを感じます。そうそう、濱田さんの作品で聞いてみたいことがあるってね……



青砥さんが毎日書き続けているマイブックは文庫サイズの日記帳。



二井 清治
私は、27歳で坂倉建築研究所に入所しました。1969年に坂倉準三先生が急逝された後の建築研究所は、西澤文隆さんが代表として東京と大阪を行き来されていて、大阪事務所のデザインと実務は太田さんが中心でした。独学で建築を志した私にとって、西澤さんはもちろん、太田さんからは、建築のいろはから現場まで本当に多くのことを学びました。大阪府立青少年海洋センターは、私が入所して最初に関わった建物です。年齢や経験に関係なく、皆が自由に真剣に議論して、ときには後戻りしながら検討をくりかえし、そしてポイントごとに西澤さんと太田さんの意見を聞きながら、少しずつよりよい建築になるように設計を進めました。独立して今年で35年になりますが、現在も私は、坂倉準三から西澤文隆、そして太田隆信へと伝えられてきた坂倉流「人間のための建築」の思想と手法の延長線上に立っているのだと感じています。

二井清治建築研究所代表
1946年滋賀県生まれ。1974年坂倉建築研究所入所、西澤文隆に師事する。1987年二井清治建築研究所設立。

文・古屋歴 撮影・ハンリ

建築家

と

ふたりの建築家の関係性を撮影します。
今回は、坂倉建築研究所ご出身の太田隆信さん、二井清治さんと大阪府立青少年海洋センターを訪ねました。

02

建築家



太田 隆信
僕は、大学卒業後に東京の坂倉準三建築研究所に入所し、1年半と少しの後に大阪事務所に移りました。大阪事務所は1948年の開設で、1950年代から60年代にかけて坂倉先生が大阪でつぎつぎに取り組みされた大きな仕事が、今日まで続く大阪事務所の重要な基礎になっています。東京と大阪の坂倉事務所は、一見、別々に実績を出しているようでいて、俯瞰してみると全体で坂倉建築研究所という大きなひとつの流れをつくっているのです。東西で影響を与え合う、切磋琢磨するというおもしろさはずっとありました。いま振り返ってみると、どの仕事も関係者みんなで全力投球してきたという実感があります。事務所に入ったばかりの二井さんも一緒に議論して実現させた、大阪府立青少年海洋センターのカラークリア塗装は、東京事務所からも見学に来て、ある時期の坂倉建築研究所を象徴する仕上げになりました。

太田隆信スタジオ代表
1934年台湾生まれ。早稲田大学理工学部卒業後、坂倉準三建築研究所入所。東京事務所を経て1960年より大阪事務所。1994年より坂倉建築研究所代表取締役、大阪事務所長を兼任。2008年太田隆信スタジオ開設。(写真左)



大阪府立青少年海洋センターは1975年竣工。海底から4本のピアで支えられ、コールテン鋼を外装に用いた研修棟は、年月を経てもますます力強さを増す。

そば処 一山
 大阪市中央区高麗橋3-1-1
 ☎06-6231-6059
 ☎11時~18時20分(ラストオーダー) 土曜・日曜祝日休



👍
 そば処
 一山

大阪・淀屋橋

松尾 和生
 日本設計 関西支社 フェロー
<https://www.nihonsekkei.co.jp/>



わさび、おろし、納豆をそばと順々に食べていくのが松尾流。卵もだんだん自然に混ざってくるそう。田舎そば納豆入り820円。天ぷら入りも。



あの人の オススメ

建築家の
 行きつけ店、
 教えます
 Recommend
 Shop



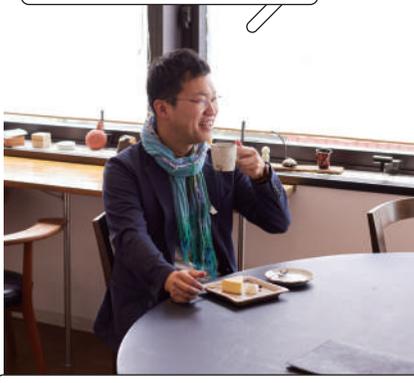
カフェには不揃いの椅子に、使う器やカップもいろいろ。深煎りのブレンドコーヒー-M460円に、濃厚なチーズケーキをセットで(+330円)。



取材時は木工作家と陶芸作家の二人展を開催中だった。

和歌山市

谷岡 拓
 堀田設計 取締役
<https://www.facebook.com/hottasekai/>



👍 Msギャラリー12番丁

(訪ねるたびに勉強になります。)

(ここではみんな、静かに食べてはる。)

☪ 窓会で再会した中学の同級生がギャラリーに併設してカフェを始めることに。これが、週末に妻と美術館やカフェを巡っていた谷岡さんにとって、ちょうどいい行き先となった。その同級生の本山裕司さんは、和歌山の名喫茶で珈琲を修業してカフェに活かし、ギャラリーでは目に留まった全国の工芸作家を紹介。展示した作家の作品は購入してカフェで使うようにしている。「ギャラリーとカフェ、飲む珈琲と彼の雰囲気がかすく職人的な感じでマッチしていて、居心地がいいんです」と谷岡さん。本山さんは、展示作家を取材してフリーペーパーも発行していて、作家の制作スタイルやエピソードまで驚くほどの情報量を蓄えている。「聞けばグイグイと説明してくれるので勉強になります。ときどき美術館にも行きますけど、こんなには誰も教えてくれないので(笑)」。Msギャラリーが入居するのはもともと事務所として使われていたビルの2階。といっても、ゆったりとしたアプローチで自然と足を運びやすい。聞けば、これまた同級生の父(岩脇伸行さん)が設計したものだそうで、谷岡さんにとっては和歌山の偶然の縁がいくつも。身近にそんな場所があるってうらやましい。

松尾さんの勤務先から徒歩5分。戸建ての店舗は数えるほどしかない都心のオフィス街にそっと建つ「一山」は、100年続くという店。こじんまりと無駄のない店内にかざられたメニュー、注文を通す声と調理場から聴こえてくる水音だけがBGMだ。「ここは時間がゆっくり流れている気がして、仕事の合間に来るのにちょうどいい。ご家族で経営されているのもほっとするでしょ」と松尾さん。淀屋橋で動く百戦錬磨のビジネスマンがこれほどの憩いの場を見逃すはずもなく、昼どきは行列となるが、通し営業ゆえに遅がけの時間にはマイペースな常連たちがぼつぼつと。「私も夕方によく来ます。ここは酒がないのがまたよくて。酒があるといつ長いから」。実際、先代がアルコール嫌いだっただけで、田舎そば、おろしそばを基本に絞られたメニュー数も、なるべく自家製でつくれるものだけを提供しているため。週に2度3度と通う松尾さんの定番は、田舎そば納豆入り(寒い季節になればとりなば)。「こっぴやって営業し続けられていることがすばらしいし、柱一本でも生き続けている感じがします。ベイベイでも払えるようになったのはちょっとびっぴりしましたけど(笑)」。

近畿支部大会を完全オンラインで3日間開催！

新型コロナウイルスの影響で延期を重ねていた近畿支部大会。2022年秋の大会開催に向けたプレ大会が、「交流」をテーマに、オンラインにて開催されました。JIA近畿支部の6地域会、協力委員会、学生委員会、青年委員会、国際委員会による企画で、幅広い話題提供と議論が交わされました。

Program

2/4
fri

・屋まで協力会員委員会 生会議！
参加：延原利明(株式会社フジワラ)、笠井隆司(アトリエK)、中野健生(東リ株式会社)、仮家礼子(株式会社安田)、横森宝(田島ルーフィング株式会社)、田中 孝文(株式会社TJMデザイン キッチンハウス)、他

・カーボンニュートラルに向けて 建築家ができることを考える
講師：鈴木大隆(北海道立総合研究機構 理事)

・香川県庁舎東館耐震改修工事について
講師：村地譲一(松田平田設計大阪事務所副所長)

・近畿(滋賀・京都)vs沖縄 建築家交流戦
総評コメントレーター：重村力(Team ZOO いるか設計集団 主宰)

2/5
sat

・林業家X建築家 吉野材・紀州材の現状とこれから
講師：泉谷繁樹(泉谷木材商店 代表取締役)、榎本長治(山長商店 代表取締役会長)

・建築家の考える災害対策

・関西建築家新人賞受賞！白須氏・山口氏トークセッション
講師：白須寛規、山口陽登

・国際交流イベント 海外在住の日本人建築家にインタビュー

2/6
sun

・建築と子どもたち Architecture & Children Online Meeting from JIA KINKI

・建築とまちの価値を高める都市デザインの手法 社会実装を目指して
パネリスト：曾根幸一(建築家・アーバンデザイナー 芝浦工業大学名誉教授)、南條洋雄(建築家・南條設計室 所長)、江川直樹(建築家・関西大学名誉教授)、小浦久子(都市計画家・神戸芸術工科大学教授)、饗庭伸(都市計画家・東京都立大学教授)

・HAZAMA.LAB | JIAライブラリー公開コンペ

・地域から世界を考える アフターコロナの生活提案
ゲスト：阿曾美実、今津康夫、新田崇博、百枝優
モデレーター：奥和田健

Comment

今津 康夫 さん
ninkipen!

最終日に九州支部とのイベントで、神戸の阿曾さん、佐賀の新田さん、福岡の百枝さんとオンラインで話しました。九州のお二人の作品は拝見していたのですが、これが初対面。距離をゼロにしてしまうオンラインならではの企画でした。オンラインの普及もあってか、私自身も長野や新潟といった地方での仕事が増えています。大阪とは環境がまったく変わり、設計規模なども違ってくるので、あらためて設計の面白みとやり甲斐を覚えています。最近では雑誌『GA JAPAN』も「地方の建築」特集でした。地方ならではの活動の多様性に注目が集まっていると感じます。

新田 崇博 さん
CLASS ARCH

九州から参加しました。関西の方は社会や建築について猛然と語られる印象がありましたけど、今回のオンライントークではゆったりとした形で話せたのでほっとしました。こうして縁ができたのはうれしいことですし、今後は、建築のことにかぎらず情報交換しながら話していけたらいいですね。できることなら関西の仕事もやってみたいです。



JIA (The Japan Institute of Architects) とは

JIA=日本建築家協会は、建築家が集う公益社団法人です。建築、まちづくりを通して社会公共に貢献する活動をしています。その近畿支部では滋賀、京都、兵庫、大阪、奈良、和歌山の各地域会と、さまざまな委員会、研究会、部会が活動をしています。

<http://www.jia.or.jp/kinki/>

JIA近畿が行っている建築イベントやコンペ、おすすめ情報などはホームページで更新しています。

こんなにもあります、
JIAの委員会&部会。

JIA近畿支部で活動している委員会や部会は、おそらくみなさんが想像するよりも多岐にわたっています。ざっと委員会の名前だけ挙げてみても、役員会、青年委員会、総務委員会、広報委員会、災害対策委員会、国際交流委員会、協力会員委員会、表彰委員会、職能委員会、学生委員会、マスターズ委員会とずらり。それぞれに何人もJIA会員や建築家たちが名前を連ねています。

これに加えて研究会・部会も組織され、都市デザイン研究会、建築教育研究会、保存再生部会、住宅部会、福祉部会、建物メンテナンス研究会、建築交流部会、建築倶楽部、建築家資格制度委員会といった委員会がセミナー開催や、コンクルールの運営など、それぞれの目的に合わせて活動しています。各活動の紹介などは、JIA近畿支部のサイトからご確認ください。

<http://www.jia.or.jp/kinki/event/kinkai/>

目的は若手のために。
マスターズ委員会、
始動。

数ある委員会のなかで、2021年に立ち上がったマスターズ委員会は、経験と実績豊かなベテラン建築家が若手建築家の支援や協働することを目的としています。alter+代表の笠井隆司委員長がまず取り組んだのは、「建築家に知ってほしい」と題したウェブセミナー企画で、これまでにイトーキ、TOTO、YKKといった企業が登壇。自社の取り組みを紹介するとともに、参加者との意見交換を行ってきました。「今後は、組織事務所とアトリエ系事務所の意見交換なども行つて、垣根を取り除いていければ」と笠井さん。なお、委員会員になる基準は「時間に余裕があるベテラン建築家であること」。笠井さんに続く委員会員も集めているところだそうです。

大阪

大阪地域会では、一般市民を対象として毎月第1・3金曜日の午後、支部事務局（綿業会館）を会場に建築相談を実施しています。相談内容は、住宅を建てる場合の工夫、購入する場合の注意点、建物に対するクレーム、近隣とのトラブル等です。相談は無料で、会員建築家が2名体制で対面で相談に応じています。コロナ禍以降は、Zoomミーティングでのリモート相談も可能と



建築相談の様子

委員会のメンバーは自己研鑽にも取り組んでおり、大阪弁護士会所属の弁護士と大阪地裁所属の裁判官を招いた勉強会をそれぞれ年1回のペースで開催しています。建築の発注者・利用者が客観（第三者）的な見解を専門家から得る機会はなかなか難しいと感じますが、われわれはその機会の実現をめざしています。このように着実な活動に取り組み建築相談委員会にも次世代への更新が課題となっておりです。会員の参加

を募っていますので、われわれが実務を通じて得た経験を社会へ還元活動とご理解をいただき、気軽にご参加いただければと思います。トラブルが起これからの相談だけではなく、建築に着手する前にアドバイスを得ることは大切です。無料の対面相談と建築着手前のアドバイスが可能という点は、他団体の相談と異なり、われわれ独自の取組と言えます。これらの活動は社会の安心・安全につながる地道な活動ですが、今後も持続的な活動を実現するため市民の方々には活用を、会員の方々には参加を是非お願いいたします。近畿一円の建築相談に関する情報については、「エゴにて」ご覧いただけます。「日本建築家協会近畿支部建築相談」とご検索ください。

OSAKA

リモートによる中高生との「サイエンスカフェ」



を通過して、コミュニティを形成し社会やまちなにつながっていくというプロセスを疑似体験する事業です。まちづくりの現場で重要な、互いの意見を尊重しながら対

HYOGO

やつと、まさに元気がもどってきた。最近、そう感じている方も多いのではないだろうか。2021年度は、コロナ禍において思い通りの活動ができない中、これまでの活動を振り返る時間となり、また、活動が評価されていることを感じる機会にも恵まれました。2010年から開催している「COOP」によるボクたちとワタシたちの村」は、日本建築学会教育賞（教育貢献）を受賞いたしました。小中学生を対象とし、段ボール素材を使った模型づくりのワークショップを通じて、コミュニティを形成し社会やまちなにつながっていくというプロセスを疑似体験する事業です。まちづくりの現場で重要な、互いの意見を尊重しながら対

兵庫

駒井 陽次 JIA近畿支部兵庫地域会長 (2021年度)

地域の方々と学生たちとワークショップを通してまちづくり支援を行ってきた神戸元町エリアでは、月刊タウン誌への連載の依頼をいただき、3年にわたるまちづくり支援の活動などを継続的に掲載していただいております。地域会長のバトン次へつなぎました2022年度、兵庫地域会の新たな展開にご期待下さい。



オンラインで盛り上がった「建築家交流戦」

KYOTO

和歌山

谷岡 拓 JIA近畿支部和歌山地域会長

いました。建築家もつならされるような、中学生からの質問の応酬に、たじたじとなりながらも、建築の楽しさを伝える良いイベントになったと思います。また、近畿支部で行ったオンライン支部大会の企画のひとつ、「建築家交流戦」は、滋賀と京都がタッグを組んで、沖繩支部と建築のプレゼンテーションを競い合いました。総評コメントター

に、株式会社いるか設計集団の重村力氏をお招きし、「地域性」をテーマにオーディエンスの「いね」を競い合う交流戦を開催。勝敗は沖繩に軍配がかりましたが、支部大会のテーマ「交流」に合う、盛り上がる会となりました。今後は是非、他支部、他地域との交流戦を広げていきたいものです。今年度は、個人的に気になっている「災害対策」や「空き家」といった社会問題にかかわる活動への取り組みができればと考えています。建築家の職能やアイデアが、日本の問題を解決する手がかりになることを期待しています。

京都

WAKAYAMA

コロナ禍によりオンラインによるイベントが増え、関東で企画されたイベントにも気軽に参加できるようになり、時間的・金銭的な制約からも解放され、情報収集の範囲が一気に広がった。イベント企画の場合でも、遠方の講師にわざわざお越しいただかなくとも、講演時間だけオンラインで繋いでいただければいいので、拘束時間や交通費の点で、非常に開催しやすくなった。和歌山市街地から大阪市内への移動で約1時間かかる我々にとって、おおきなメリットだ。



再開される対面集合の企画

ともできる（他の動物は持っている能力らしい）。しかし、メディアを介する情報はまるで実体験のようにリアルであっても、自分の想像力や認識力を超える体験はできないという点でもありそうです。この「video」を冊子として発刊しているのは、五感で感じる実体験を大切にしたい建築家たちの想いだと感じます。想定外を体験しにまちへ出かけましょ。



三宅町交流まちづくりセンターMiMoでの座談会

2021年度もコロナ禍の中での活動となりましたが、年末の1時的な収束を機に、久しぶりにリアル講演会：奈良県三宅町（日本で一番目に小さな町）にオープンした「三宅町交流まちづくりセンター MiMo」で「これからの公共施設づくり」をテーマに設計者解説付き内覧会、設計者とコーディネーターの講演会、町長を交えた座談会を開催しました。町民・行政・建築家・設計事務所関係・大学関係・一般など多方面からご参加いただき、特に座談会では町長が初期段階からのプロセスを語り、活発な質疑や近隣町長からのエールで大変充実し、建築ができるまでの「仕組みづくり」の重要性を改めて感じました。それらの様子や、和歌山地域会との共催「林業家×建築家 吉野材・紀州材の現状とこれから」の講演会・座談会を編集し奈良地域会 YouTubeチャンネルで配信していますので是非一度ご覧ください（奈良

地域会チャンネルへのリンクは近畿支部トップページメニューバー「奈良」にありますので是非チャンネル登録もお願いします。今後世界はパンデミックのみならず戦争、世界恐慌、天災、人災、食糧難…と目まぐるしい時代に突入するかもしれません（一方でマスキングの自浄作用も少しは進み真実が明らかになってくる？と期待したいですが）。そのような状況下で我々が官民間わず社会・世界に貢献できることは何かを模索しながらではあります。活動の指針にしたいと思っています。

NARA

滋賀

平居 晋

JIA近畿支部 滋賀地域会長



彦根市民会館での見学会

7月、大津において「防災フォーラム2021」を開催しました。5年前の熊本地震の際に現地に派遣され活動していただいた滋賀県チームの報告を受け、被災建築物応急危険度判定士としての活動を学びました。災害時に私たちにできることの確認とともに、滋賀県主催の講習会の受講を促す機会ともなりました。8月には、彦根出身の高橋貞太郎が設計した彦根市民会館が解体されることになり、「彦根市民会館と高橋貞太郎」と題した見学会を開催しました。神戸女子大の砂本文彦先生の高橋貞太郎の軌跡をたどる興味深いお話に耳を傾け、ホール空間を市民の皆さんと最後に共有できたことは貴重な機会となりました。11月には12回目となる「景観まちづくりフォーラム」を大津の百町界隈で行い、地域の歴史を学び、まちの成り立ちと未来についての思いを巡らせました。そして10月から1月にかけての4ヶ月にわたって滋賀県が開催した「木造建築セミナー」には、会員有志が積極的に参加することができました。中大規模の建築物に「びわ湖材」と呼ばれる滋賀県産の木材を活用するために、川上から川下まで（生産者から製材業者、施工業者、設計者）を対象に相互理解を深め、実践的な学びの場を得ることができました。これらの活動を今後の軸として、滋賀地域会らしい取り組みを重ねていきたいと思います。

SHIGA

わたしの table



vol.02 堀部直子さん (Horibe Associates co., ltd.)の自宅テーブル

18年前の建設時、現場監督さんから「床材に使っていたラワン合板が2枚余った」と聞き、貼り合わせて30mm厚の天板で900mm角のテーブルを2台製作してもらいました。普段は2台をつなげて大きなテーブルとして使っていますが、天気の良い休日などには1台をバルコニーに運んで外で食事を楽しむこともあります。天板と脚は載せているだけで取り外しも可能なので、少し木目の異なる表裏2通りの天板の表情も楽しめる、なかなか万能なテーブルで重宝しています。

table

table 2号

2022年7月1日発行

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部

大阪市中央区備後町2-5-8 綿業会館4階

企画・制作 JIA近畿支部 広報委員会 紙媒体WG(ワーキンググループ)

奥和田 健(奥和田健建築設計事務所) WG長

梅原 悟(UME architects)

岡田 良子(Space Clip)

金山 大(SWING)

西井 洋介(ROUTE)

遠山 健介(遠山健介建築設計事務所)

編集・取材 竹内 厚

デザイン タナカタツヤ

表紙ビジュアル 河合 浩

vol ② table

建築家と建築から
街を活気づけるマガジン

